

高遠町 地域協議会だより

平成31年3月発行 第44号

地域協議会だより第44号では、平成30年度第3回・第4回の地域協議会、高遠町総合支所庁舎あり方研究委員会の内容をお知らせします。

第3回

高遠町総合支所庁舎

あり方研究委員会

平成30年10月18日(木)

高遠町総合支所

高遠町地区の将来を考えるにあたり、若者の意見を把握するため高遠中学校2年生を対象に実施したアンケートの結果を確認しました。

特徴的な回答結果は次のとおりです。

①高遠町の現状(イメージ)について

○評価の高い項目

「美しい山、川、風景があり、自然が豊かである」

「昔からある行事など、地域の伝統が大切にされている」

「米や野菜を作るなど農業が盛んである」

●評価の低い項目

「道路や鉄道、高速道路などが整備され



て交通の便が良い」

「日常の買い物やしやすく便利である」

「自然災害に備える体制が整っている」

②定住意向について

○将来も高遠町に住みたいと回答した生徒 43.2%

●将来は高遠町に住みたくないと回答した生徒 36.3%

③今後のまちづくりの方向性について

「環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち」

「犯罪がなく災害に強い安全なまち」



また、高遠町地区のまちづくりの方策について助言をもらうために、地域おこし協力隊員の杉山祐樹さんによる発表を聞きました。少子高齢化社会において必要なことは、「安心・充実」と「不安の軽減」。これを行政・地域・企業が役割を明確にしつつ、協働で進めることが肝要。将来を見据えたチャレンジ(と)にかくやってみる、失敗を恐れないが必要、との意見発表がありました。

第4回

高遠町総合支所庁舎

あり方研究委員会

平成30年12月4日(火)

高遠町総合福祉センター



第2回目の委員会において討議した、「新たな高遠町総合支所に望むこと(機能・役割など)」に基づき、各項目に対応、または親和性があると考えられる「位置・規模・意匠等」について、グループ討議を行いました。各委員から自由に出された意見をグループごとに発表しました。

第5回 高遠町総合支所庁舎

あり方研究委員会

平成31年1月24日(木)
高遠町総合福祉センター

第5回の研究委員会に先立ち、小委員会において検討された研究報告書(案)を基に研究成果の取りまとめを行い、協議の結果、研究報告書(案)のとおり承認され、正副委員長が速やかに市長に研究結果の報告を行うことを確認しました。なお、市長への報告後、委員の選出母体、住民への周知を行うとともに、新たな庁舎の建設について具体的な検討が行われる来年度以降についても、住民への細やかな情報提供を求める要望が出されました。

研究結果報告書は、伊那市公式ホームページで公開しています。



第3回地域協議会

平成30年10月18日(木)
高遠町総合支所

協議事項

●委員からの提案

◆「桜の高遠」を継続していくための名所のあり方研究委員会の設置について

高遠城址公園内にある1,500本の桜について、樹齢が140年以上のもの、50年以上のもの等があるが、桜の寿命が約100年と言われており、向こう50年くらいで城址公園の桜が滅びてしまうと危惧する中で、今後「桜の高遠」をどう継続していくのか、研究委員会を設けて検討していくことが提案されました。

高遠商工観光課からの回答として、高遠城址保存管理計画において、史跡と合わせて桜の振興に努めることとされておられ、桜の各個人の調査を行っている。これに基づいて、今後の保護の管理計画を策定することとなる。



国の指定を受けた史跡であり、国や県との調整をしながら進めていくので、提案の研究委員会の設置は考えていない旨の回答がありました。委員から、行政ではなく、地域協議会の中に研究委員会を設置することが提案され、今後設置するかどうか地域協議会の中で議論していくことを確認しました。



◆高遠城址公園北側雑木林の整備及び山桜の名所について

進徳館裏庭からの急傾斜地、高遠城址公園の三の丸の先になるが、雑木林の環境整備を図って眺望を良くし、花の丘公園のように花が見られる環境づくりをしたかどうか、また、花の丘公園の上に桜を植樹した経過があるが、その環境整備を図って、新たな山桜の名所となるように拠点づくりをしたかどうか、と提案がありました。

高遠商工観光課から、城址公園三の丸からの雑木林は、国の史跡で高遠城跡保存管理計画のエリアにあたるため、園内の環境整備は文化庁協議が必要となり、現時点でこの一帯の雑木林の具体的な環境整備はない旨の回答がありました。

第4回地域協議会

平成31年2月19日(火)
高遠町文化センター

●伊那市高遠町ふるさと創生活動 選考について

申請のあった団体について審査が行われ、2事業が採択、1事業が再審査となりました。

○信州高遠藩鉄砲隊
事業名「砲術演武用衣装更新」
交付金 503,000円

○高遠第2第3保育園と地域の未来を考える会
事業名「芸大生によるバス停アートプロジェクト」
交付金 1,362,000円

■報告事項

◆長藤診療所について

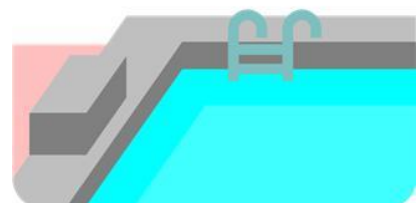
長藤診療所については、現在、月・金曜日は終日、火・水曜日は午前半日の診療を行っています。が、本年3月末に常勤の医師が定年退職を迎えるにあたり、後任医師の確保に努めてきましたが、非常勤医師1名による週1日毎週水曜日の診療が可能となりました。専門は整形外科ですが、長藤診療所をかかりつけ医と希望する患者さんには今まで通り診療対応できる予定となっています。今後も診療体制の維持に向けて引き続き医師の確保に努めていきます。

※その後の調整で、現在の医師による、週1日毎週木曜日午前中の診察が可能となったため、長藤診療所の診療日は、平成31年4月から、毎週水曜日と、木曜日の午前中となります。



◆長藤健康増進施設の閉館について

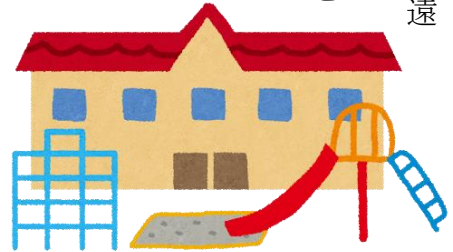
長藤診療所横の「長藤健康増進施設」は、29年10月、伊那市行政改革審議会の事務事業外部評価により、「終期の設定を行い廃止」と評価されました。これを受けて、終期を「代替部品のないものが破損した場合、又は大規模修繕が必要な場合は廃止」として運営を継続していましたが、30年12月、プールの水温と室温を一定に保つ機械の故障に伴い臨時休館とし、今年2月、利用者に施設廃止のお知らせをしました。故障した機械の交換部品がなく、本体の交換に多額の費用が必要となるためと、機械を修理しても増収が見込めないため、平成31年3月31日をもって閉館とさせていただきます。併設している機能訓練室については、後利用を検討中です。



◆高遠保育園の後利用計画について

高遠保育園の移転に伴い、旧高遠保育園の後利用計画については、高遠地域からの要望や子育て環境の現状を踏まえた上で、子育て支援を軸とした複合型施設として活用を図ります。

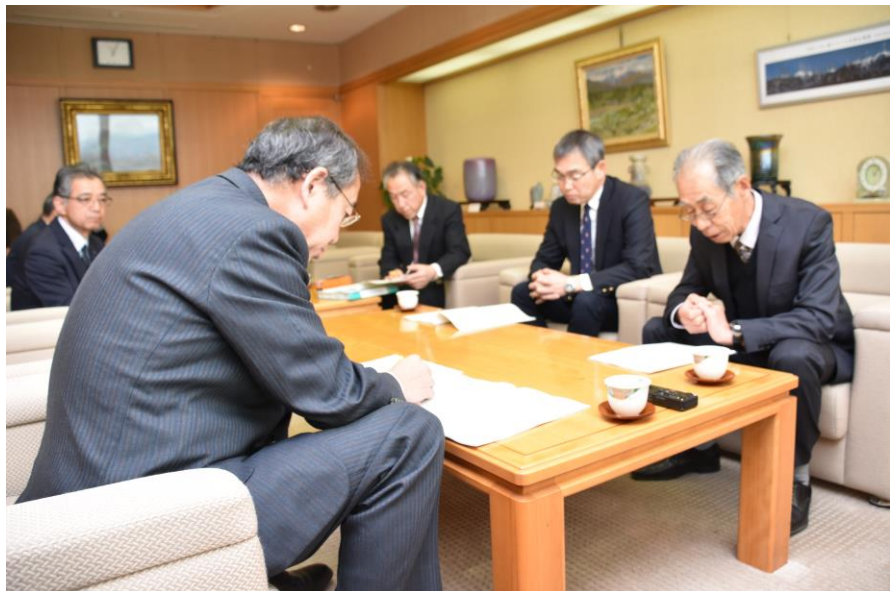
- ①美篤子育て支援センターの機能を、高遠子育て支援センターとして移転する。
 - ②高遠小学校児童クラブを高遠小学校の施設から移転する。
 - ③高齢者の憩いの空間や子どもと触れ合える交流スペースを設ける。
- 開設時期は、既存施設を一部改修したのち、本年7月の予定です。



◆総合支所夜間管理業務の休止について

総合支所の夜間管理業務は、現在夕方5時から夜10時まで、シルバー人材センターに委託し一名を配置しています。職員が帰った後の庁舎の管理、旧庁舎では会議時の施設管理、体育施設の鍵の貸し借りが主な業務ですが、11月に移転した仮庁舎には会議を行う部屋がなく、鍵の貸し借りも高遠町文化体育館内に事務所を置く伊那市振興公社にお願いできることとなったため、**新年度から夜間管理業務を休止します。**電話については、すべて本庁舎に転送されます。緊急に高遠町地区で対応する必要があります場合は連絡がつくような体制が整っています。仮庁舎の間は、夜間業務は休止とし、新庁舎へ移転した場合は改めて検討していきます。

●総合支所庁舎あり方研究委員会市長報告について



2月8日(金)、総合支所庁舎あり方研究委員会正副委員長が市長と面談し、研究報告書を提出しました。市長からは、旧庁舎の解体については後利用も含めて多額の費用が必要になり、財源の確保を含めて検討していきたいこと、新庁舎については、今後の社会情勢、産業技術等の展開を踏まえ、未来を見据えたまちづくりの議論も必

要になるので、市役所内に検討委員会を設置し、この研究成果を生かしながらなるべく早い検討をしたい。また、検討結果は住民に丁寧に説明していきたい、との話がありました。



高遠町地域協議会では、20名の委員の皆さんが、地域の身近な課題や問題を真剣に論議し、各選出団体の代表として活動しています。地域協議会への意見や希望等がありましたら、協議会委員または高遠町総合支所総務課までご連絡ください。

■編集発行 高遠町地域協議会事務局

(伊那市高遠町総合支所総務課内)

■電話 94-2551

■FAX 94-3697

■Eメール t-sou@inacity.jp

